

平成26年度 第3回学校協議会 HP 用記録

日時：平成27年2月19日（木） 15：30～17：00

場所：本校 高等部棟2階 図書室

参加者：学校協議会委員
学校協議会事務局
各分掌部長 医療的ケア安全委員長

1 学校長挨拶 白木原校長

- ① 卒業式の紹介
- ② 府市統合について
- ③ 平成27年度の児童・生徒数の見通しと教育課程について
- ④ 本日の協議について

2 学校協議会委員紹介、事務局紹介

3 会長挨拶

4 今年度の学校経営計画の総括と今後の課題について 校長及び各分掌長

○校長より

本年度の学校経営計画にかかわる取組内容及び自己評価

○各部資料に沿って説明。最後に質疑応答を行う。

《質疑応答》

委員) 情報の管理システムに関して、情報は一元管理されているのか？また、誰でも取り出せるのか？

事務局→) 情報は多岐に渡る。連絡帳のような担任管理のものからデータのような個人情報まで。情報は一元化はされていない。

個人情報を校外に持ち出す時は、持ち出すためのシステムがある。

委員) 個人情報を閲覧する際に制限はかけているのか？またサーバーはどうしているのか？

事務局→) サーバーを府で更新した。以前は学校で管理していたが、府全体でUS

Bが持ち出せないようにしている。パソコンではなく、ネットワーク上で管理している。

委員) そこから引き出すことが簡単なら、管理は難しい。

事務局→ パソコンに入るためには立ち上げのUSBが必要。外に出ることはないようにしている。

委員) 児童生徒指導部の「緊急連絡カード」の項目は？

事務局→ 大規模災害の対応、名前・連絡先だけではなく、近所の知っている人など、引き渡す際に本人確認ができるように事前に名前を登録することで活用できればと考えている。

委員) 親と連絡がつかない時にどこに避難させるか？第2・第3の避難所の記入も必要ではないか。連絡はなかなかつかない。交通網も遮断されている。キーステーションを決めておけば、そこから情報を発信できる。

委員) 個別の指導計画は誰がいつ作るのか？

分掌長→ 小・中は学期制で3回。高等部は2期制で2回。保護者に目標の確認をして作成。学期終わりに評価を作成。

委員) 担任の先生が作成をしているのか？

分掌長→ 中・高は教科の先生がしている。

委員) 個別の指導計画は、今年は何が充実したのか？

分掌長→ 書き方や文章表記を整理してマニュアルを作成。各教員に周知。

委員) 通知表と個別の指導計画は連動しているのか？

分掌長→ 連動しています。

5 平成26年度学校教育自己診断について 事務局

1 保護者アンケートについて

○回収率 65.03% 昨年度より上昇。一昨年は72%だった。今後要分析。

○評価について 全体では、平均で3.41P。やや上昇。全体として高評価。

○考察

- ・ホームページ関連低いが、情報発信に努めた結果徐々に改善はしている。
- ・施設設備。まだ過密状態が続く。肢体不自由児童・生徒に対する施設設備も不足。改善するための努力をしていかなければならない。
- ・「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」「授業が楽しくわかりやすいと言っている」が下がっている。各学部で検討。
- ・全体の項目25「この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」は3.72P(96.6%)だが、学部によっては100%のところもある。

2 教員アンケートについて

- 回収率 87.04% 一昨年は32%と低かった。格段の向上。
- 評価について 全体では、平均で2.99P。+0.01Pで昨年とほぼ同じ。
- ベスト項目 個別の教育支援計画関連
- ワースト項目 施設設備・研修参加の成果を伝える機会・他の教員の授業見学
- 考察
 - ・回収率はさらに改善。
 - ・個人情報の課題で「個人情報の管理システム」関連は低下。
 - ・過密状況は改善はしてきているが、依然として過密である。

6 その他 委員の皆様から感想、ご意見

委員) いろいろな分掌等、分断されることもあるなか、協力しながら、やっている外部の関係機関とのやりとりで校内支援と自立活動の守備範囲のちがいはあるのかなのか? OT, PT, STは自立活動委員会で、他は校内支援としているのでしょうか?⇒そうです。

委員) 学校教育自己診断アンケート結果が、細分化されたものでとても分かりやすかった。回収率も上がったことは感心している。

質問) 昨今、障がいの名称「アスペルガー」を使わなくなる、「自閉症スペクトラム」を使うようになる、など変更があったが、学校現場において名称変更に伴う研修等複雑に、困惑されていないでしょうか?

事務局→) 障がい種別で、大まかな傾向はあるが、障がい名が変わっても、現場において、障がい名で子どもを見ているのではなく一人ひとりの実態を見て指導に当たっているため、弊害はないように思う。

名称の変更もあったが、今年度、法律がかわり、人権意識がより高まっている。基礎的環境整備、合理的配慮が必要になってきている。

委員) 進路部の報告でもあった就学してからのアフターの支援に力を入れていく必要があるように思う。協力していきたい。

委員) ・高等部のBクラスは、1ヶ月でクラスわけを行っている。もう少し慎重に見極めていくほうがいいのではと思う。期間が短すぎるように思う。

・高等部は守口市の生徒のみが在籍、進路指導のあり方も変わってきているように思う。中学部まで本校で寝屋川支援学校卒業生もいるので、本校の持っている、門真の情報を提供する方向で進めただけであればありがたい。

・生徒数が減って行く中ではあるが、頑張ってください。

委員) 医療的ケアの児童生徒の対応として、来年度の看護師さんの配置はどうなっているのか?

事務局→) 看護師配置は今年度と同じ体制で進める予定

委員) 学校教育自己診断を丁寧に行われている。分析もきちりされている。手間ではあるがこれだけ丁寧であれば、このアンケート結果を元に、客観的に話しを進めることができるように思う。施設の充実化においても、数値で示すことでなんとなくわかってもらえるように思う。

8 最後に

学校協議会の持ち方が24年度に新たに示され、委員さんの任期が2年となりました。26年度にひきつづき、27年度もよろしく願いいたします。